

2020年度 KOKO奏 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

自己評価概要

KOKO奏に勤務するスタッフ（常勤・非常勤含め）10名にR3年1月自己評価表を配布し5名の回答を得られ、集計を行った。

集計後、運営、スタッフ間のミーティングにより改善目標について話し合いを行った。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が機能訓練等スペースとの関係で適切であるか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、静養室を使用するなどして密にならないよう工夫している ・既定のスペースは保持できているが、座位保持椅子などの物品が置いてあるため部屋が狭く感じる ・利用人数が多い時は狭く感じることもある (改善目標) 倉庫の増設や整理整頓に努め、利用者のスペースが確保できるように努めていきたい 生活介護の移転（新設）などを検討していきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3		児童発達管理責任者兼サービス管理責任者1名（専任）、管理者（生活支援員兼務）1名、児童指導員1～2名、看護師2～3名、機能訓練担当職員0～1名の配置をしている。 体調不良のスタッフが休みやすいよう、余裕のある配置を目指している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	車椅子が通れる広さのスペースの確保やスロープ等を設置している 今年度は、カーポートを設置し、雨天時濡れずに入室出来るよう工夫した
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	2	4		業務での難しい場面など連絡ノートやヒヤリハットなどで情報共有に努め、ミーティングで話し合いを持つようにしているが、すべての事例では出来ていない。

業務改善

5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		本年は、この評価表に加えて、配布物等に関するアンケートを配布した。今後連絡方法などにICTを活用し、迅速かつ、正確に情報が伝えられるようにしていきたい。
6	この自己評価の結果を事業者の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	1	公表後、保護者様へ公表場所のお知らせを配布した。スタッフに向けても周知していたが、わすれて s
7	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	外部評価は行っていない
8	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	3	1	2	今年度は、サービス管理責任者研修（実践）2名、強度行動障害支援者研修2名、同行援護従事者研修1名受講し、外部研修を通して支援の質の向上に努めている。また、コロナ禍により、オンライン研修が増えており、研修の機会が調整しやすくなってきているが、オンライン研修が苦手なスタッフもおり、研修を受けたスタッフからの伝達講習などの講習をしていく必要がある。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			定期的に、スタッフ全員でモニタリングを行い、ニーズなどを確認している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			・保護者様に「サポートブック」の記載を依頼し、状態の把握に努めている また、サポートブックの更新を依頼し、保護者様と情報の共有に努めた
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		日替わりの活動係を設定し、利用者の状況や活動状況などを考慮しながら、活動プログラムを計画している。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		月間の活動プログラム表を見ながら、偏りがないようにしたり、曜日ごとに違う利用者であっても体験が出来るようにしたり工夫をしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか	2	1	2	平日は15:30~16:30と短時間で、集団活動または個別活動のどちらかしかできないことが多いが、休日や長期休暇などは、過ごす時間が長くなるため午前午後のプログラムや課題達成に向けたプログラムを組んでいる。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		<ul style="list-style-type: none">・スタッフの始業開始時間が違うため、共有しにくい。・遅く来るスタッフもいるため、打ち合わせは数人になることも多い・連絡ノートを活用して、スタッフに周知している。連絡ノートの活用率が上がっているが、まだ周知できていないことも多いため、連絡ノートの活用を呼びかけていきたい
16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	1	4	1	その日のうちにはできないことが多いが、気づいた点はミーティングで話し合っている。
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		全員で記録が出来るように記録指導をしている。正しい記録方法などについての勉強会を行っていきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2		定期的に、スタッフ全員でモニタリングを行い、ニーズなどを確認している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2		

関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	3	3	・コロナ禍の為、サービス担当者会議の開催数は少なかったが、児童発達管理責任者のみではなく、必要に応じて看護師や機能訓練担当職員も参加し、専門的な内容の共有に努めた。
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	・学校へ利用者様をお迎えに行く際、学校の先生との情報共有を行っている。また、保護者様より学校での状況や学校の計画などの情報をきめ細かく伝えて頂いている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	・主治医に看護指示書を作成していただき、必要時には直接連絡が取りあえる体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解につとめているか	3	2	就学時担当者会議に参加し、学校等との情報共有を行った。
関係 機関	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス支援事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	3	2	学校卒業時に、学校、生活介護事業所と共に会議に参加し情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	本年は、二葉園主催の連携研修（オンライン）に参加した。

や 保 護 者 と の 連 携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	・コロナ禍の為、他事業所や地域との交流が難しかった。 今後終息した場合、近くの放課後児童クラブなどとの交流会などをしてみたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	1	地域部会・こども部会・災害部会等様々な部会に参加している。 こども部会でのポータルサイトへの登校の参加や、運動会への参加など説教的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題に浮いて共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6		
保 護 者 へ の 説	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	3		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2	父母会などを発足、開催したいと考えているが、実行できていない。 (改善目標) コロナ禍のため、保護者同士対面での連携が難しく、オンラインやSNSなどを活用した新たな方法を模索していく必要がある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			指摘を受けたことに対しては、スタッフ間で共有できるように連絡ノート等を活用している。保護者へも周知ができるようにお知らせを配布する等の配慮を行う。

明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		年数回KOKO奏新聞の発行を行い、活動報告を行っている。 また、連絡体制などの運営の変更があった際にはお知らせを配布している。 奏新聞の発行回数を増やしてほしいという意見があった為、発行回数を増やして行こうと考えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報取り扱い研修とまでは言っていないが、取り扱いについてミーティングで啓発をした。
	36	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			保護者との連絡ノートでのやり取りや、送迎時にご意見等をうかがっている。 運営からのお知らせの配布の回数を増やした。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		1	5	コロナ禍のため、事業所に招待する等は出来ていないが、散歩活動の際に地域の方と声掛けなどで交流をしたり、集会所で行われる地域活動に職員が訪問し、地域の方々に事業所を知ってもらおう努力をしている。
非 常 時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3		コロナ禍により、
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3		今年は、実際に避難をする訓練ではなく、保護者様にも参加していただき、「災害伝言ダイヤル」での連絡訓練を行った。実際の災害伝言ダイヤルの使い方について、スタッフも知ることができ、実際に起きたときのために有意義な訓練となった。何度か実施することでいざというときに慌てないようにしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	2	3	1	来年度は虐待防止委員会の設立を予定し、年間計画に沿って研修や啓発運動をしていきたい。

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	身体拘束についての勉強会などをしていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の基づく対応がされているか	5	1	食物は基本持ち込みになっているが、利用者のアレルギー情報をスタッフに周知し、活動内容を変更したり、居室を分けたり、清掃をしたりとアレルゲン除去に努めている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハット・インシデント・アクシデント報告書を作成し、共有している。対策案は、ミーティングで話し合い、スタッフ間の連絡ノートでスタッフへの周知に努めている。